

国際ロータリー第2770地区

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA MID-TOWN

Weekly Report



世界に希望を生み出そう

◆ 会長 菊地 貴光

例会日 火曜日 12:30 ~ 13:30 理事会 11:30 ~

会場 山下工務店 大袋GL 2階

事務局 〒343-0034 越谷市大竹686-3

TEL 048-971-5320 FAX 048-971-5370

創立 1990年5月22日 ◆ 会報作成 クラブ管理部門

◆ 幹事 大野 弘

次週インフォメーション

7月

25日(火) 18:00~ 夜間例会
会場: 正八寿司

8月

1日(火) 13:00~第1例会
14:00~理事会

中央市民会館 5階第10会議室

6日(日) 家族同伴納涼例会
17:30点鐘

会場: 上野音音バンブーガーデン店

8日(火) 振替休会

15日(火) 夏季休会

22日(火) 13:00~第3例会

中央市民会館 5階第10会議室

29日(火) 夜間例会 *詳細後日

*予定が変更になることがあります
予めご了承下さい

第1524回 例会会報

- ・例会月日 2023年7月18日(火) ・点鐘時間 13:00 ~
- ・例会場 越谷市中央市民会館 5階 第1会議室
- ・斉唱 「奉仕の理想」
- ・司会者 山下ヨシ子 出席会場委員長 ・発行年月日 2023年7月20日

** 移動例会 **

【 会長挨拶 】

菊地 貴光 会長

今日は、先週の会長挨拶で話した事の続きとでもいう話になりますが今年度の国際ロータリーゴードン R. マッキナリー会長がインスピレーションを得た、スコットランドの国民的詩人であるロバート・バーンズについて話したいと思います。



ロバート・バーンズ (Robert Burns、1759年1月25日 - 1796年7月21日) スコットランド語 (Scots language) を使った詩作で知られ、スコットランド民謡の収集、普及にもつとめた人物です。



このロバート・バーンズ、日本人には非常になじみ深い人物です。というのも、バーンズの歌は日本でもよく耳にします。その一つが「蛍の光」です。もともとあったスコットランド民謡を収集し改作したのがバーンズです。原題は「Auld Lang Syne」(オールド・ラング・サイン) といいますが、スコットランドの新年、 Hogmanay (具体的には不明です) で集まった人々全員で歌われ、また、イギリスの夏の終わりや秋の始まりを告げる音楽祭「BBCプロムス」の最終夜の最後に演者と観客全員で手を繋ぎながら歌われているそうです。

バーンズの話に戻ります。1759年、バーンズはスコットランド南西部サウス・エアシャイア、アロウェー (Alloway) の貧しい小作農の家に7人兄弟の長男として生まれました。父親は敬虔な長老教会信徒で教育熱心で息子たちに読み書きを学ばせました。

ロバートは弟とともに農場で働きながら詩を作り始めます。

1781年、ウィリアム・ウォレスを英雄と仰ぎアメリカ独立戦争の精神に共感していたロバートはフリーメイソンに加入、そこで得た人脈はのちの彼の詩人としての成功の足がかりとなったそうです。1783年からスコットランド語のエアシャイア方言を使った詩作を行ない、1786年には初の詩集 (*Poems - Chiefly in the Scottish Dialect*) が出版されました。これは今日ではキルマーノック版 (Kilmarnock Edition) と呼ばれるものです。この成功を受けて、翌1787年にはエディンバラでも彼の詩集が出版されました。詩人としての大きな名声を得た一方で、バーンズはリウマチ熱に苦しみ1796年、心疾患のため37歳で没しました。

バーンズはスコットランド語を詩作に用いたことでよく知られていますが、大半の作品はイングランド語で書かれ、その一部にスコットランド語を含めた形式のものとなっています。このことによって、スコットランド語話者のみにとどまらない読者層を獲得したともいえます。作品の作風は、弱い立場にある者への愛情、社会の不正義への風刺が含まれているとのことです。

バーンズはイギリスにおけるロマン主義運動の先駆者とされ、今日でもスコットランド文化の象徴的存在として影響力をもっています。

スコットランドは独自のスコットランドポンドが使われていますが、クライズデール銀行が発行するポンド紙幣には彼の肖像が使用されているそうです。



このように、現代でも人々の生活に根付いているバーンズですが、スコットランドではバーンズの誕生日である1月25日又は25日付近の日はバーンズ・ナイトと呼ばれ、バーンズ・サパーを開きバーンズの生涯や作品である詩を記念し祝す日とされています。

この催しは、セルカーク・グレース (Selkirk Grace) でディナーが始まり、メインディッシュには伝統料理ハギスが供されます。バグパイプに率いられ運ばれてきたハギスを前にバーンズの『ハギスに捧げる詩』 (Address to a Haggis) を朗読し、ハギスにナイフを入れる儀式が行なわれます。さらにバーンズの詩やバーンズにちなんだ話、バーンズの詩による歌謡や音楽が披露され、最後に参加者全員で手をつなぎ、Auld Lang Syne を歌って終宴となるそうです。



ハギス料理

このバーンズ・ナイトは、スコットランドのほか、スコットランド系移民の多いオーストラリア、ニュージーランド、北アメリカ、カナダなどでもしばしば行なわれる。日本でもセント・アンドルー・ソサエティー (St Andrew Society of Yokohama and Tokyo) 日本スコットランド協会などで、バーンズ・サパーが開催されているそうです。

もしかしたら、これらの団体の中にはロータリーメンバーがいて、バーンズの話やスコットランドの話などをされている方もいるかもしれません。

【 幹事報告 】 菊地 貴光 会長

- *越谷北 RC より 年度計画書が届きました。
- *越谷南 RC より 7・8・9 月予定表が届きました
- *ハイライト米山が届きました。

【 クラブフォーラム 】

クラブの今後について・・・

中クラブは 1990 年 (平成 2 年) 創立 2 年後には 35 周年を迎えようとしています！中クラブは創立からのメンバーも 2 名頑張ってます！

中クラブは市民まつりで高額な予算を頂き レンジャーショーを行い続けています。中クラブの存在は大きくあります！そして 大変評価されています！

会員増強維持として もう一度 会費を見直してみてもはどうでしょうか？
例えば 新会員は お試し期間を設け 会費を安くして中クラブを 感じてもらいましょう

例会場に関しては 事務局と例会場を同じ建物内と考へなくても 今日のような 中央市民会館、北部市民会館等を利用するのも良いのでは・・・

まだ みんなの意見を出し合って 行動出来る事があるのではないかと・・・行動してから結論をだしても遅くはないのか？ もう一度行動してみましよう！

中クラブのような 少人数のクラブは 他にも何ヶ所かあります やはりクラブの意味があるからだと思ふので 中クラブももう一度皆で考えましよう！

自分は仲社長からこのクラブを紹介して頂き入会して 20 年以上になりますが 本当に感謝の気持ちしかありません！会社の中では学べない事を沢山学び、沢山の人の出会いから経験は今の自分にとっても役に立っているからです

今年度の予算から 経費の見直しを もう一度考えてみても良いのではないかと？ 減らせる所はあると思います！

今日は数字が見えない所があるので 具体的に全て数字を見ましよう！

出来るのにやっていない事がまだあると思います！もう一度見直してみませんか?!

**中クラブの魅力 を各自思い出して！
大切な問題だからこそ 焦らず結論出さない！
もう一度みんなで見直しましよう！**



【 スマイル報告 】 山下 ヨシ子出席会場委員長

- *今日は中央市民会館です。この後 8/1、8/22 も 部屋 予約取りました。・・・ 菊地 貴光 会長
- *お世話になります。

- 本日もよろしく・・・ 山下 良雄 会員
- *今日も元気で 頑張りましよう・・・ 仲 文成 会員
- *今日は改めて 意義ある話が出来ました！
- ・・・ 山崎 晶弘 会員
- *今日も宜しくお願ひします・・・ 小池 和義 会員
- *皆さん暑くなりました。「安心して下さい！」

- 3ヶ月も過ぎれば寒くなります それまでです！
- ・・・ 坪井 明 会員

- *「暑いですね」があいさつですね
- よろしくお願ひします・・・ 山下 ヨシ子 会員

スマイル金額 7,000 円

会員数	出席免除	出席数	欠席数	MU	出席率
11名	1名	8名	2名	0名	82%

